

平成31年度 新規事業候補箇所の選定の考え方

平成31年 3月 8日

第24回近畿地方小委員会

① 高規格幹線道路における国による新設・改築事業

過去に選定した事業：
一般国道 158号(中部縦貫自動車道)大野油坂道路(大野・大野東区間) [H27.3.4審議]
一般国道 483号(北近畿自動車道)豊岡道路 [H28.3.9審議]
一般国道 24号(京奈和自動車道)大和北道路(奈良北～奈良) [H30.3.14審議]
一般国道 42号(近畿自動車道紀勢線)串本太地道路 [H30.3.14審議]

今回の候補とする事業：**一般国道 42号(近畿自動車道紀勢線)新宮道路**

② 高規格幹線道路以外の直轄国道における新設・改築事業

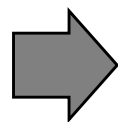
過去に選定した事業：
一般国道 24号 寺田拡幅 [H25.4.22審議]
一般国道 161号 湖西道路(真野～坂本北) [H27.3.4審議]
一般国道 2号 大阪湾岸道路西伸部(六甲アイランド北～駒栄) [H28.3.9審議]
一般国道 1号 淀川左岸線延伸部 [H28.12.15審議]

今回の候補とする事業：**一般国道 24号 城陽木津川バイパス**

③ 補助国道における国の権限代行による新設・改築事業

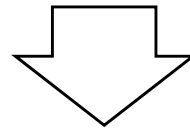
過去に選定した事業：
一般国道 168号(五條新宮道路)風屋川津・宇宮原工区 [H25.4.22審議]
一般国道 312号 大宮峰山道路 [H27.3.4審議]

国による
直轄事業

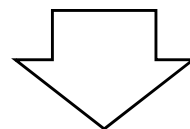


①～②のそれぞれの分野について、選定の考え方を示して、
新規事業候補箇所を選定

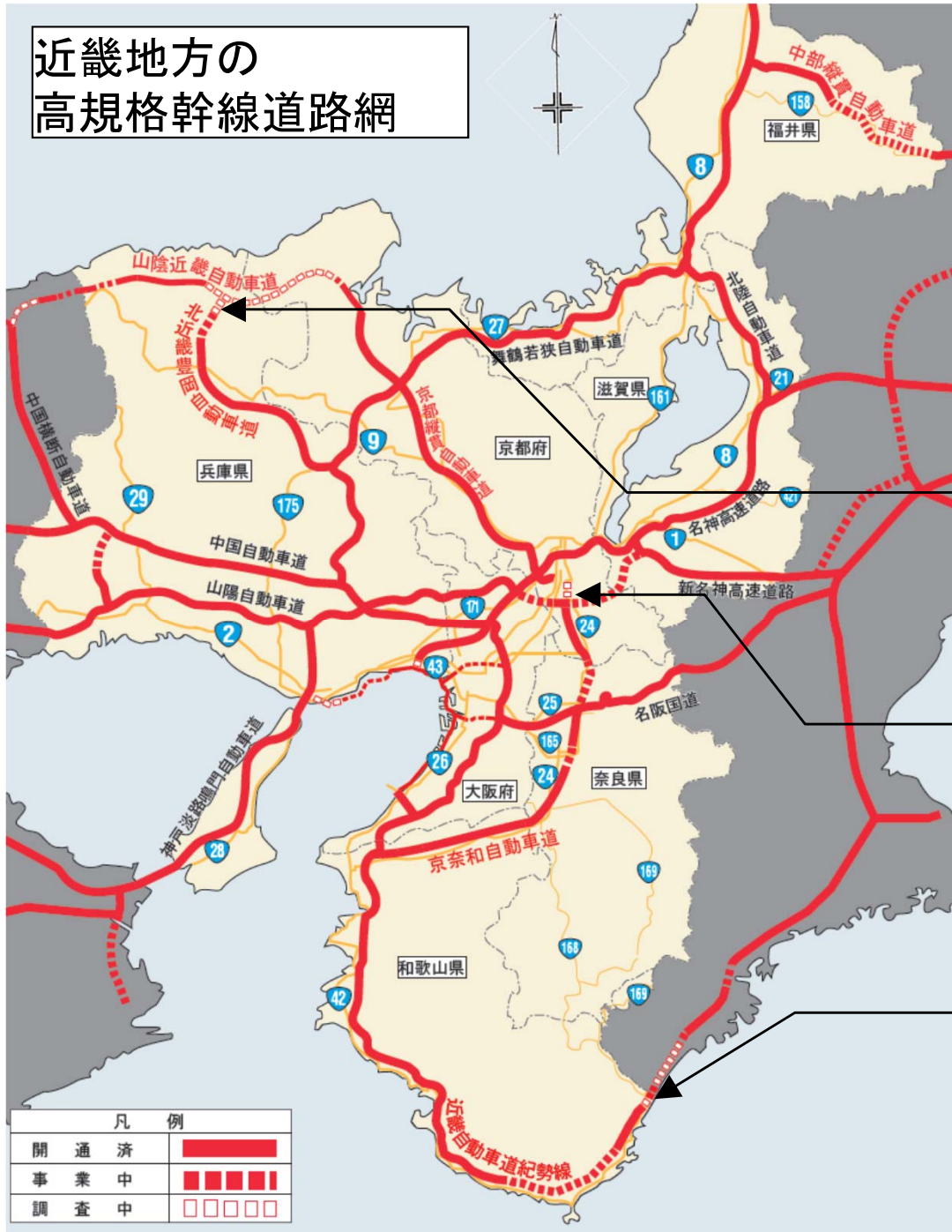
①高規格幹線道路における国による新設・改築事業



地域づくりとの連携を図り、地域における道路の位置付けや役割を確認した上で、事業実施環境（都市計画、環境影響評価等）が整っている箇所のうち、各事業の事業効果や緊急性、予算の状況等を踏まえて選定。



近畿地方のミッシングリンクにおける未事業化区間（①高規格幹線道路）



北近畿豊岡自動車道
 ・豊岡北～豊岡 : 5km

京奈和自動車道
 ・巨椋JCT～城陽JCT : 6km

近畿自動車道 紀勢線
 ・新宮～新宮北 : 5km

平成31年度新規事業候補箇所の選定の考え方（①高規格幹線道路）

■高規格幹線道路（高速自動車国道）

府県名	路線名	区間	延長	ルート・構造の検討状況	都市計画の状況	環境影響評価の状況	備考
和歌山	近畿自動車道紀勢線	新宮～新宮北	5km	確定			

■高規格幹線道路（一般国道自動車専用道路）

府県名	路線名	区間	延長	ルート・構造の検討状況	都市計画の状況	環境影響評価の状況	備考
京都	京奈和自動車道	巨椋JCT～城陽JCT	6km	検討中	未	未	
兵庫	北近畿豊岡自動車道	豊岡北～豊岡	5km	確定	完 (兵庫:H27.6)	完 (兵庫:H27.6)	関連事業との事業調整が必要



近畿自動車道紀勢線 新宮～新宮北をH31年度新規事業化候補箇所に選定

平成31年度新規事業候補箇所の選定の考え方（②直轄国道）

対象事業：高規格幹線道路以外

直轄管理区間における対策未実施区間



全国的な政策課題に照らし必要性を確認

道路の防災・震災対策の観点からの必要性

- 近年大規模災害による被災有り
- 事前通行規制区間、防災点検要対策箇所など災害に対する脆弱性を有する区間
- 津波浸水想定区域が存在 等

円滑な都市・地域活動の観点からの必要性

- 地域の協議会等において特定された「主要渋滞箇所」 等

地域固有の課題解消の観点からの必要性

- 地域の協議会等において特定された「事故危険区間」 等



具体的な対策方針が決定している区間



改築事業としての事業実施環境が整っている区間

一般国道24号 城陽木津川バイパス

平成31年度新規事業候補箇所の選定の考え方（②直轄国道）

② 高規格幹線道路以外の直轄国道における新設・改築事業の選定フロー

【対策未実施区間(新規事業候補対象区間*2)の抽出】

1. 近畿の直轄国道全線(約1,900km)
 ○H27道路交通センサス区間のうち、バイパス等抜本的対策が事業中の箇所を除く
 【1,050区間】

【新規事業候補区間*2の抽出】

2. 課題箇所の抽出 【641区間】

① 渋滞 主要渋滞箇所・区間*1 が存在する区間*2 【240区間】	② 事故 事故危険区間が存在する区間*2 【493区間】	③ 通行規制 異常気象時事前通行規制区間が存在する区間*2 【65区間】	④ 災害 防災点検要対策箇所及び津波浸水想定区域に該当する区間*2 【84区間】
---	------------------------------------	--	--

3. 具体的な対策方針が決定している区間 【24区間(3箇所)】
 ○計画が確定している区間

① 渋滞 【14区間】	② 事故 【17区間】	③ 通行規制 【0区間】	④ 災害 【4区間】
-------------	-------------	--------------	------------

4. 事業実施環境等の確認 【12区間(2箇所)】
 ○ルート・構造の検討状況、近接区間の事業状況等を考慮して、事業実施環境が整っている区間

① 渋滞 【6区間】	② 事故 【7区間】	③ 通行規制 【0区間】	④ 災害 【4区間】
------------	------------	--------------	------------

○H31新規事業化(候補)箇所
 一般国道24号 城陽木津川バイパス

【抽出指標】

課題	評価指標	備考
① 渋滞	主要渋滞箇所・区間*1	主要渋滞箇所が確認されている区間 主要渋滞箇所公表資料(平成24年度)
② 交通安全	事故危険区間	事故ゼロプランにより選定されている区間 地域の委員会等で特定された区間
③ 通行規制	異常気象時事前通行規制区間	異常気象時に事前通行規制を実施する区間 近畿地方整備局が指定した事前通行規制区間
④ 災害	防災点検要対策箇所	防災点検要対策箇所が存在する区間 道路防災点検により要対策とされている箇所
	津波浸水想定区域	自治体が公表するハザードマップなどにより津波被害が想定される区間 最新の公表済みハザードマップ(津波)

区間*1には、交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む

区間*2は、H27道路交通センサス区間